

JR 東日本輸送サービス労働組合

THE JTSU-E JOURNAL

2024年1月1日(月)
第47号

所在地: 〒135-0044 東京都江東区越中島 3-5-10
電話: 03-6458-5603 | FAX: 03-6458-5605
HP: http://jtsu-e.com | メール: union@jtsu-e.com
発行人: 佐々木 宏充 | 編集人: 奥 富 亨

月1回(1日)発行/1部20円
(組合員の購読料は組合費に含む)
QRコードは、(株)デンソーウェブの登録商標です

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちが持続可能な開発目標(SDGs)を促進しています。

写真: 龍門の滝と烏山線 (組合員撮影)



真の笑顔と活気あふれる職場を
実現するために

すべての仲間とともに輸送サービス労組運動を推し進めよう!

新年あけましておめでとうございます。昨年(2023年)は、JR東日本八王子駅パンフ配布処分事件の都労委勝利命令と「脱退パワハラ訴訟」において、JR東日本における脱退勧奨という不当労働行為を認め、損害賠償の支払いを命じたという二つの勝利を勝ち取ることができました。改めて、すべての組合員と家族の皆さんと共に喜びたいと思います。私たちが「JR東日本輸送サービス労働組合」を結成した意義が確認できると思います。そして「連帯する会」をはじめ、議員の皆さんや有識者の方々など、日頃から私たちを支援・連帯してくださっている一つひとつの温かい行動が、この勝利へと繋げることができたと思います。

しかし、これで終わりではありません。「JR東日本八王子駅パンフ配布処分事件」では、会社側が不服を申立て、中労委に上申しています。また、脱退勧奨の不当労働行為については、今もなお現場では面談などで管理者が堂々と「希望を叶えたいなら考えようがないよ」と言っている始末です。2018年頃から顕著になってきた労働組合を敵視し、経営陣と連帯意見を排除するかのような言動や行動が今も続いています。経営の意思として行われていることは明らかですが、「脱退パワハラ訴訟」では会社組織としての責任が明確になっていないため、訴訟、輸送サービス労組として「あつたことをなかつたことにならぬ」という強い姿勢で臨んでいます。

今年、職場は「変革2027」の早期達成に向けた経営陣の号令の下、安全サービスレベルの低下を顧みず施策実施ありきで物事が進められ、疲弊が続いていると聞いても過言ではありません。2020年4月から「新たな多プロローション」施策が実施され、職種ごとの異動や希望しない箇所への異動が現在まで行われています。この3年間で輸送サービス労組組合員の簡易苦情処理は262件を数え、組合員でない方たちの希望ではない異動や家庭の事情で異動できない、など声なき声を含めれば、この施策の異常さ、今の会社の「社員の声を聴かない」傲慢でもない経営姿勢がはつきりと現れています。

人と地球に優しい社会を創造するために「真」の労働組合運動を私たちの手でつくり出そう!

JR 東日本輸送サービス労働組合 中央執行委員長 **佐々木 宏充**

労働の現場の本来の楽しさを取り戻すために、輸送サービス労組に結集することを一人ひとりが声を天に呼びかけていきたいと思います。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年(2023年)は、JR東日本八王子駅パンフ配布処分事件の都労委勝利命令と「脱退パワハラ訴訟」において、JR東日本における脱退勧奨という不当労働行為を認め、損害賠償の支払いを命じたという二つの勝利を勝ち取ることができました。改めて、すべての組合員と家族の皆さんと共に喜びたいと思います。私たちが「JR東日本輸送サービス労働組合」を結成した意義が確認できると思います。そして「連帯する会」をはじめ、議員の皆さんや有識者の方々など、日頃から私たちを支援・連帯してくださっている一つひとつの温かい行動が、この勝利へと繋げることができたと思います。

ある鉄道はとうとうあるべきか冷静に検討し、働く私たちの動きが、生きがいはもとより利用者の利便性や公共性という観点も入れて、政策を提言し実現できる「真」の労働組合の運動が問われています。したがって、私たち輸送サービス労組は、政府内で検討されている「赤字線区」の将来に向けてどうしていくのか、地域の皆さんの声を聴き、労連と連携し、会社だけでなく社会にも発信していくことを実践していきます。内向きになりがちな労働組合ですが、2024年は地域と「真」に連携することを強く意識した取り組みを行っていきます。

2024年 新年のあいさつ

日本輸送サービス労働組合連合会 執行委員長 **関 昭生**

公共交通のあり方を考え、地域共生社会の実現に向けて

あけましておめでとうございます。JTSUは一昨年10月にスタートした「鉄道の日アクション」以降、組合員の皆さんとともにJR東日本管内の「輸送密度2,000人未満」の路線の現地を訪れ、昨年10月13日に「これからの鉄道と輸送サービスを考える地域共生フォーラム」を開催しました。今、日本では急激な少子高齢化社会の到来とともに、公共交通の維持は大きな社会問題となっています。地域共生フォーラムでは各地の現実を報告しあい、有識者の皆さまから、交通インフラの課題や国内外での実践的な活用事例などのお話を伺いました。今回踏み出した大きな一歩をもとに、地域共生という視点からこれからの公共交通のあり方を探っていきます。10月15日には「JTSU ボールデウォークサークル」を結成しました。みんなで健康増進をしながら、防災や文化を通じて地域共生社会をつくりましょう。昨年7月に訪日した国連の「ビジネスと人権」作業部会は、調査後の声明のなかで「リスクにさらされている人たち」として「労働組合」をあげています。差別のない労働環境をつくるためには、働く人たちが権利意識をもって声をあげていくことが、ますます重要になります。最近、JR東日本のグループ会社で働く人のJTSUへの加入が進んでいます。一人ひとりが手を携えあって、混沌とする時代に希望のあかりを灯していきましょう。今年も一年よろしくお願ひいたします。

ジェイアールバス関東労働組合 執行委員長 **遠山 真一郎**

人権侵害を許さず、健全なJR東日本グループを実現するために

新年あけましておめでとうございます。バス関東労組結成からまもなく4年。今日まで支えてくれた多くの仲間の皆さん、そして連帯するすべての仲間の皆さんに感謝申し上げます。私たちの生活は「衣・食・住」に関するすべての物価上昇により計り知れないほどの苦境に立たされていますが、「2023賃金引上げのたたかい」では「一律ペア500円」「55歳減額制度の一部改定」そして、期末手当は夏1.8ヶ月、冬2.0ヶ月という低額回答による妥結を判断せざるを得ませんでした。アフターコロナである昨今では外国人観光客を中心とした多くのお客さまにご利用頂いています。海外から見てもエッセンシャルワーカーとして「安全・安定輸送」を担う私たちの労働こそが「日本の観光資源」であり、大きな社会的役割を果たしているのです。その具体的な努力が報われる労働条件・労働環境を取り戻すために、2024春賃金引上げは社会情勢やこれまでの交渉経過を基礎に、多くの仲間と連帯して「心と身体の充実と働く誇りが実感できる賃金引上げ」を組織の総力をあげて実現していきます。今年は、ジェイアールバス関東不当労働行為事件の中労委命令取り消し訴訟も大きな山場を迎えていきます。このたたかいは組合員と家族の人権を取り戻し、健全なJR東日本グループを取り戻すこと、さらにはJRのみならず企業による差別、パワハラやセクハラによる人権侵害に苦しむ多くの方々に一筋の光をさすたたかいです。引き続き連帯するすべての仲間たちの支援・激励をお願いします。2024年も組合員と家族の皆さんで支えあい、地域の皆さんとも力を合わせながら組織の強化・拡大を目指して、共に未来を切り拓きましょう! 本年もよろしくお願ひ申し上げます。

健全なJR東日本・グループ会社をめざし
起ちあがった仲間と連帯する会 代表 **高橋 正憲**

勝利を確認し、支援の輪を広げ “いのち”と権利を守りぬく

板橋区議を辞めて6年目を迎えます。現在、母の生活を見るために毎月北海道と東京を行ったり来たりと二重生活をしています。収入は年金だけ。物価の上昇は年金生活者には重くのしかかります。政府は大企業を中心に賃上げを要請し成果もありましたが、むしろ中小零細企業の多くは賃上げも厳しく倒産も増えました。そのような中で政府は議員報酬を上げましたが、今の国家財政の中で報酬を上げる状況にあるのでしょうか。政治とカネにまつわる不祥事が多く、政治資金パーティーによる裏金作りが常態化されていたことが明らかになるなど、疑惑解明が求められます。ロシアのウクライナ侵攻から丸2年を迎えます。日本国内では戦争のできる国づくりに向けて、有事を想定した国策が進められ、増税やNTT株の売却等による防衛費の財源確保に奔走していますが、戦争への道は絶対に許してはなりません。JTSUは結成以来、不当労働行為と真摯に向き合い取り組んできました。脱退パワハラ訴訟やJR東日本八王子駅パンフ配布処分事件等、多くの仲間が助まれ支えられて勝利を勝ち取ってきました。皆さんの勝利は私たち利用者の安全・安心を守る勝利だと確信しています。働く仲間と利用する人たちの「いのち」と権利を守るためにもしっかりと支援します。平和が一番! 暮らしが一番! 共にガンバロー!

JTSU 顧問弁護士 **佐々木 亮**

おかしいことには声を上げ、控訴審に向けて変わらぬ支援を

新年あけましておめでとうございます。昨年は脱退パワハラ個人訴訟における勝利判決や、JR東日本八王子駅パンフ配布処分事件で都労委での勝利命令が出るなど、運動の結果が見えた年でした。もっとも、こうしたたたかいは結論の勝ち・負けだけが全てではありません。その過程において「何を問い、どういう労働運動をつくっていき、そして、どのような組織として成長するのか」これが大事な点であると思います。その意味で、個人訴訟は非常に重要なたたかいです。考えてみれば、短期間で組合員を万単位で脱退させられているのに、労働組合自らが動きを止めてしまったという未曾有の事態において、声をあげた「個人」がいたのですから、これ自体が暗闇の中の光だったと思います。そして、それをサポートする組織があり、粘り強く道理を問い「なかつたことにしない」という信念と「おかしいものはおかしい」という毅然とした態度で、たたかいは進められてきました。昨年の判決は勝利判決でした。ただ、裁判所は会社をあげての組織的な不当労働行為であったという認定まではしていません。しかし、常識の目で見ればあれが会社をあげた行為でなければ、一体何が当てはまるのでしょうか。1月早々に控訴審第1回期日があります。私たち弁護団は、確信をもって会社ぐるみの不当労働行為があったことを主張・立証していきたいと思っています。ぜひ、変わらぬご支援をお願いいたします。

JTSU-e New Year Dream Quiz

ニューイヤードリームクイズ

- 豪華景品が 総勢 40名に当たる!
- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> Nintendo Switch 1名 | <input type="checkbox"/> 只見産コシヒカリ5kg (令和5年産) 5名 |
| <input type="checkbox"/> ホテル椿山荘 TOKYO ランチお食事券 1名 | <input type="checkbox"/> 那須烏山市 島崎酒造醸造 果実酒 2名 |
| <input type="checkbox"/> アイリスオーヤマ 非常食セット 3名 | <input type="checkbox"/> 烏山和紙 名刺入れ 3名 |
| <input type="checkbox"/> アンカー モバイルバッテリー 4名 | <input type="checkbox"/> ひたちなか海浜鉄道 1日乗車券 5名 |
| | <input type="checkbox"/> スターバックスコーヒーカード 8名 |
| | <input type="checkbox"/> Amazonギフト券 8名 |

【応募方法】 ハガキに①答え ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤氏名(ご家族の方は組合員の氏名と続柄) ⑥所属分会名(もしくは出身分会名)を記入し、以下のあて先までご応募ください。
【宛先】 〒135-0044 東京都江東区越中島 3-5-10 輸送サービス労組 NYDQ 係
【締切】 2024年1月26日(金) 必着

機関紙を読んでOで囲まれた数字に入る文字(ひらがな)を当てよう!
ヒント: 1面に書かれている言葉です!

真の123と活気4567職場を
実現するためにすべての仲間とともに
輸送サービス労組運動を推し進めよう!